

作業療法学専攻

A 欧 文

A-a

1. Miyahara H., Inadomi H., Ohta Y., Aikawa K., Ozawa H.: Mothers' perceptions of the sexual development and behavior of their children and persons with autism in general. *Acta Medica Nagasakiensia*.53:1-7, 2008
2. Hanzawa S, Tanaka G, Inadomi H, Urata M, Ohta Y: Burden and coping strategies in mothers of patients with schizophrenia in Japan. *Psychiatry Clin. Neurosci.*62(3):256-263,2008(IF:1.394)*
3. Komine H, Matsukawa K, Tsuchimochi H, Nakamoto T, Murata J: Sympathetic cholinergic nerve contributes to increased muscle blood flow at the onset of voluntary static exercise in conscious cats. *American Journal of Physiology* 295:R1251-R1262, 2008 (IF: 3.272)*
4. Funase K, Liang N, Tsukazaki I, Tabira T, Narita T, Kasai K : Bilateral Facilitation of Hand-motor Cortices During a Reading Task. *Advances in Exercise and Sports Physiology* 14(3): 57-62, 2008

B 邦 文

B-a

1. 三根真理子, 中根秀之, 木下みどり, 浦田 実, 木下博史, 藤田邦行, 太田保之: 長崎県高齢被爆者安心サポート事業1年目の結果から. *広島医学*. 61(4): 287-289, 2008
2. 東嶋美佐子: 多発性脳梗塞例に対する嚥下と呼吸の協調性評価. *作業療法*27(3): 90-294, 2008
3. 半澤節子, 田中悟郎, 後藤雅博, 永井優子, 関井愛紀子, 田上美千佳, 新村順子, 稲富宏之, 太田保之: 統合失調症患者の母親の介護負担感に関連する要因—家族内外の支援状況と家族機能の関連—. *日本社会精神医学会雑誌*16(3):263-274, 2008
4. 本田裕之, 佐藤聡, 吉村俊朗, 木下郁夫, 辻畑光宏: 皮疹を認めず, 口唇, 末梢神経, 骨格筋に類上皮肉芽腫性病変を認めたHansen病の1例. *神経内科*(69(3):261-265, 2008
5. 山西葉子, 岩永竜一郎, 亀山富太郎, 松本 勝, 榊原 敦: 新生児行動評価(NBAS)とその後の発達との関係に関する調査研究. *小児保健研究*67(2): 391-397, 2008
6. 岩永竜一郎, 松坂哲應, 本山和徳, 松崎淳子, 円城寺しづか, 荒木ふみ: 3歳児健診における広汎性発達障害児スクリーニング精度向上のための質問項目に関する研究. *小児の精神と神経*48(3): 235-242, 2008
7. 岩永竜一郎, 植木志保, 久門由美, 十枝はるか, 土田玲子: JMAP簡易版をベースにした3歳児健診用スクリーニング検査の作成. *感覚統合障害研究*12(1): 37-45, 2008
8. 久門由美, 岩永竜一郎, 十枝はるか: 聴覚過敏のある自閉症スペクトラム障害児・者に対する防衛手段の調査研究. *感覚統合障害研究*12(1): 47-55, 2008
9. 植木志保, 岩永竜一郎, 濱中真実, 村越雄二, 土田玲子, 十枝はるか: 高機能自閉症スペクトラム障害児の固有受容覚識別能力に関する研究. *感覚統合障害研究*12(1): 57-62, 2008
10. 田中悟郎: 精神障害を持つ人々のセルフスティグマの克服. *共生社会学*6: 47-58, 2008
11. 村田 伸, 大山美智江, 大田尾浩, 村田 潤, 豊田謙二, 藤野英巳, 弓岡光徳, 武田 功: 地域在住女性高齢者の開眼片足立ち保持時間と身体機能との関連. *理学療法科学*23(1): 79-83, 2008
12. 村田 伸, 大田尾浩, 有馬幸史, 溝上昭宏, 村田 潤, 弓岡光徳, 武田 功: 脳卒中片麻痺患者における下肢荷重力と立ち上がり・立位保持・歩行能力との関係. *理学療法科学*23(2): 235-239, 2008
13. 甲斐義浩, 藤野英巳, 村田 伸, 竹井和人, 村田 潤, 武田 功: 身体組成と上・下肢筋力および四肢周径に関する研究. *理学療法科学*23(2): 241-244, 2008
14. 山田 実, 村田 伸, 太田尾浩, 村田 潤: 高齢者における二重課題条件下の歩行能力には注意機能が関与している地域在住高齢者における検討. *理学療法科学*23(3): 435-439, 2008
15. 村田 伸, 安田直史, 米田 香, 村田 潤, 樋口直明, 樋口善久: 軽度要介護高齢者における居宅生活の継続要因に関する前向き研究5年後の追跡調査より. *理学療法科学*23(4): 487-490, 2008
16. 村田 伸, 大山美智江, 大田尾浩, 村田 潤, 豊田謙二: 在宅高齢者の運動習慣と身体・認知・心理機能との関連前期高齢者と後期高齢者別の検討. *日本在宅ケア学会誌*12(1): 35-43, 2008
17. 村田 潤, 村田 伸, 広重次郎, 大田尾浩, 大山美智江, 豊田謙二: 在宅女性高齢者の手指運動機能における加齢の影響と握力および手指感覚機能の関連性について. *健康支援*10(2): 56-59, 2008
18. 村田 伸, 大山美智江, 村田 潤, 大田尾浩, 豊田謙二, 藤野英巳, 弓岡光徳, 武田 功, 津田 彰: 独居高齢者の身体・認知・心理機能に関する研究. *健康支援*10(2): 39-46, 2008
19. 村田 伸, 村田 潤, 児玉隆之, 田中真一: 地域在住高齢者におけるTrail making test施行時の脳循環動態. *理学療法科学*23(5): 561-565, 2008

20. 村田 伸, 村田 潤, 津田 彰: 地域在住女性高齢者の足把持力と胸椎後彎角との関係. 理学療法科学23(5): 601-607, 2008
21. 田平隆行, 東登志夫, 稲富宏之, 田中悟郎: パーキンソン病患者における視覚情報処理過程の特徴—視覚探索課題を用いた検討—. 作業療法27(1): 65-72, 2008
22. 杉本幸子, 小河原格也, 田平隆行: 地域参加を促す介護老人保健施設における作業療法の役割, 作業療法27(1): 83-88, 2008

B-b

1. 長尾哲男, 福島 隆, 大久保篤史: 【介護保険下の作業療法】Ⅱ.1. 入浴の支援. 作業療法ジャーナル 42:608-612, 2008
2. 吉村俊朗, 本村政勝, 辻畑光宏: 【重症筋無力症-病態解明と診療の進歩】診断Motor point 筋生検. Clinical Neuroscience 26(9): 1000-1001, 2008
3. 本村政勝, 吉村俊朗, 白石裕一, 辻畑光宏: 【重症筋無力症-病態解明と診療の進歩】病型別臨床像抗MuSK抗体陽性重症筋無力症. Clinical Neuroscience 26(9): 983-985, 2008
4. 本村政勝, 福田 卓, 吉村俊朗, 辻畑光宏: 【免疫性神経疾患Update】重症筋無力症新知見Overview MuSKとDok-7. 日本臨床66(6): 1140-1148, 2008
5. 本村政勝, 徳田昌紘, 吉村俊朗: 【神経科学の進歩と神経疾患治療】重症筋無力症の最近の進歩と最新治療. 医薬ジャーナル44(2): 694-699, 2008
6. 本村政勝, 福田 卓, 吉村俊朗, 辻畑光宏: 【神経と免疫の接点からみた神経難病の病態】レセプターへの自己免疫からみた神経筋接合部障害重症筋無力症をモデルとして. Medical Science Digest 34(1): 22-25, 2008
7. 本村政勝, 石飛進吾, 辻野 彰, 福田 卓, 徳田昌紘, 立石洋平, 佐藤克也, 西浦義博, 吉村俊朗, 江口勝美: 重症筋無力症の嚥下機能評価に関する検討. 臨床神経学48(12): 1241, 2008
8. 徳田昌紘, 中野治郎, 本村政勝, 吉村俊朗, 福田 卓, 辻野 彰, 江口勝美: 筋特異的チロシンキナーゼ (MuSK) 抗体の運動終板再生に与える影響. 臨床神経学48(12): 1224, 2008
9. 辻野 彰, 吉浦孝一郎, 加用無二子, 吉村俊朗, 本村政勝, 佐藤 聡, 辻畑光宏, 江口勝美: 孤発性パーキンソン病(孤発性PD)におけるcopy number variation(CNV)の検討. 臨床神経学48(12): 1139, 2008
10. 吉村俊朗, 福田 卓, 徳田昌紘, 佐藤克也, 辻野 彰, 調 漸, 竹尾 剛, 中村龍文, 本村政勝: 長崎県下地区別における筋萎縮性側索硬化症の発生率. 臨床神経学48(12): 1082, 2008
11. 佐藤克也, 福田 卓, 徳田昌紘, 立石洋平, 辻野 彰, 西浦義博, 吉村俊朗, 中村龍文, 林徳真吉, 田川 努, 永安 武, 本村政勝, 江口勝美: タクロリムス長期投与中に赤芽球瘡を合併した重症筋無力症(MG)の1例. 臨床神経学48(9): 699, 2008
12. 立石洋平, 辻野 彰, 徳田昌紘, 福田 卓, 佐藤克也, 西浦義博, 中村龍文, 本村政勝, 吉村俊朗, 江口勝美, 赤司良平, 芦澤直人, 林徳真吉: 孤立性左室心筋緻密化障害による心原性脳塞栓症の1例. 臨床神経学48(8): 606, 2008
13. 大久保佑美, 福田 卓, 佐藤克也, 徳田昌紘, 立石洋平, 江口博人, 辻野 彰, 西浦義博, 本村政勝, 中村龍文, 吉村俊朗, 江口勝美, 福田智美, 高橋晴雄: 労作時呼吸困難で発症し, 薬物療法の効果を認めたMeige症候群の1例. 神経治療学25(3):357, 2008
14. 片岡英樹, 西川正悟, 中野治郎, 坂本淳哉, 坂井孝行, 近藤康隆, 横山真吾, 吉村俊朗, 沖田 実: 熱刺激によるラットヒラメ筋の廃用性筋萎縮の進行抑制効果ミトコンドリアの酵素活性とHeat Shock Protein 60の発現状況から. 理学療法科学35 Suppl.2: 353, 2008
15. 西川正悟, 中野治郎, 片岡英樹, 坂本淳哉, 坂井孝行, 近藤康隆, 横山真吾, 吉村俊朗, 沖田 実: 進行したラットヒラメ筋の廃用性筋萎縮に対する荷重と熱刺激の影響. 理学療法の医学的基礎12(1):20, 2008
16. 松本圭代, 福田 卓, 福島直美, 本村政勝, 徳田昌紘, 立石洋平, 佐藤克也, 辻野 彰, 西浦義博, 中村龍文, 吉村俊朗, 林徳真吉, 田川 努, 永安 武, 江口勝美: ステロイドパルス療法により播種性胸腺腫の縮小を認めた重症筋無力症の一例. 臨床神経学48(4): 295, 2008
17. 西浦義博, 中村龍文, 福田 卓, 佐藤克也, 辻野 彰, 本村政勝, 吉村俊朗, 中村英樹, 井田弘明, 江口勝美: ミクログリア, HAM HTLV-I関連脊髄症患者に対するプロスルチアミン治療の臨床試験(第2報)およびその機序の解析. 神経免疫学16(1):100, 2008
18. 大久保佑美, 福田 卓, 佐藤克也, 徳田昌紘, 立石洋平, 江口博人, 辻野 彰, 西浦義博, 本村政勝, 中村龍文, 吉村俊朗, 江口勝美, 福田智美, 高橋晴雄: 労作時呼吸困難を主訴とするMeige症候群の一例. 臨床神経学48(3):224, 2008
19. 徳田昌紘, 六倉和生, 立石洋平, 辻野 彰, 福田 卓, 佐藤克也, 西浦義博, 本村政勝, 吉村俊朗, 江口勝美: 急性非ヘルペス性脳炎の自験3症例BISモニターの有用性と臨床的検討. 日本内科学会雑誌97Suppl: 170, 2008
20. 岩永竜一郎: 特別支援教育に感覚統合の視点を. アスペハート18: 84-87, 2008
21. 岩永竜一郎: 学校の中での感覚統合指導. アスペハート19: 74-78, 2008
22. 岩永竜一郎: 自閉症スペクトラム障害児の医療行為における感覚面への配慮. アスペハート20:84-87, 2008

B-c

1. 東嶋美佐子：摂食機能障害にOTはどの程度かかわれるのか。（古川 宏（編））：作業療法のとらえかた，文光堂，東京，pp.259-270所収）2008
2. 東嶋美佐子：意識レベル・認知面に対するアプローチ。（日本嚥下障害臨床研究会（編））：嚥下障害の臨床ーリハビリテーションの考え方と実際ー，医歯薬出版，東京，pp.220-223所収）2008
3. 東嶋美佐子：作業療法士の役割と業務内容。（日本嚥下障害臨床研究会（編））：嚥下障害の臨床ーリハビリテーションの考え方と実際ー，医歯薬出版，東京，pp.343-345所収）2008
4. 野間口謙太郎，菊池泰樹（共訳）：統計学：Rを用いた入門書．共立出版2008
5. 岩永竜一郎：学校の先生のための自閉症・アスペルガー症候群講座 広汎性発達障害の生徒への特別支援教育の実際．NPO法人サポートセンターころろ，熊本，2008
6. 岩永竜一郎：学校の先生のための自閉症・アスペルガー症候群講座 特別支援教育における子どもを取り巻く人との連携．NPO法人サポートセンターころろ，熊本，2008
7. 岩永竜一郎，藤家寛子，ニキリンコ：続自閉っ子こういうふうになっています．花風社，東京，2008
8. 木下裕久，中根秀之：II. 病前からの諸問題 2.疫学研究から見た問題．専門医のための精神科臨床リユミエール統合失調症の早期診断と早期介入：22-32中山書店，東京，2008

B-d

1. 太田保之，稲富宏之，田中悟郎：職場のメンタルヘルスの現況と問題点.保健学研究, 21(1): 1-10, 2008
2. 吉村俊朗，中野治郎：カネミ油症検診者の血清CK値とアルドラーゼ値の経時変化と合併症について．熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究平成19年度総括・分担研究報告書（平成19年度厚生労働科学研究費補助金）：47-55, 2008
3. 田平隆行，榊原 淳，沖 英一，田中浩二：認知症介護予防モデル事業の紹介と成果について．保健学研究 20(2): 19-24,2008

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2008	4	0	0	0	4	2	22	22	8	3	55	59

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2008	0	2	7	9	0	6	44	50	59

原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI 掲載論文数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2008	0.068	0.364	0.5	0.182

Impact factor値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2008	4.666	0.424	2.333